



WORKMAN

株式会社ワークマン

証券コード7564

第42期報告書

2022.4.1～2023.3.31

■ 株主の皆様へ



代表取締役社長 小濱 英之

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第42期報告書をお手許にお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

「価格据え置き宣言」で存在意義をさらに高める

当事業年度は、ウィズコロナに向けた政策の転換で、経済活動再開の動きが見られましたが、急激な円安の進行や原材料価格の高騰など、厳しい経営環境となりました。様々な商品やサービスの値上げによって消費マインドが冷え込む中、当社におきましては、PB（プライベート・ブランド）商品の価格を据え置くことで顧客に寄り添う姿勢を示しました。

当社を取り巻く環境として、常連のプロ職人を土台に、ここ数年でファンになってくださった一般のお客様がドライバーとなって成長を維持しております。いずれのお客様も当社の「機能と価格」に全幅の信頼をいただいております、その「声」にお応えすることで、より強固な顧客基盤が築けると考えております。

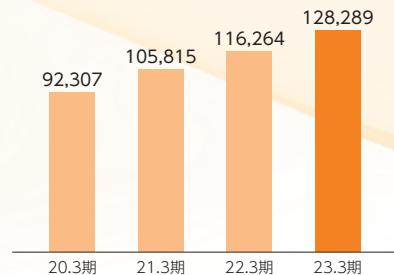
これからも主力PB商品の価格を維持し、ワークマンの存在意義である「機能と価格に、新基準」を体現することで、お客様の支持を集めてまいります。

■ 業績ハイライト

チェーン全店売上高 (百万円)



営業総収入 (百万円)



経常利益 (百万円)



お客様の「声」をカタチにし、持続的成長へ

「声のする方に、進化する。」を経営理念に掲げ、機能性ウエアの一層の進化と人口密集地への積極出店でブランド力を高め、客層拡大と顧客満足度向上に努めました。

店舗展開では、「WORKMAN Shoes」を#ワークマン女子に併設する形で出店したほか、銀座や池袋など都心エリアへの出店で大きな話題を呼びました。ロードサイド店舗では、敷地面積の大型化やオープンモールへの出店で、課題であった駐車場不足を緩和させたことや、スクラップ&ビルドの推進とワークマンプラス・ワークマンプロへの改装転換で既存店を活性化させ、お客様の利便性向上に取り組みました。

商品では、仕入価格高騰の影響をオフセットするため、当社独自の高性能素材を様々な商品に活用することで、スケールメリットを活かした仕入を行ったほか、閑散期生産を徹底するなど製造原価の引き下げに取り組みました。新カテゴリ開発では、お客様のご要望が多いキャンプギアの品揃え強化やゴルフウエアの展開など、対象市場を広げ客層拡大を図りました。

販売では、EC注文店舗受取サービスの充実やメディア・インフルエンサー向け製品発表会の規模を拡大し、SNSを起点とする顧客接点の強化で集客力を高めました。また、デジタル活用では、需要予測発注システムの稼働店舗を広げ、在庫の最適化とオペレーションの省力化を図り、店舗運営のサポートを行いました。

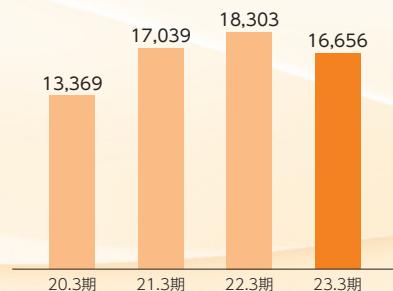
これらの取り組みによって、チェーン全店売上高は前期比108.5%となり安定成長を維持しましたが、円安の影響により当期純利益につきましては、前期比91.0%で増収減益という結果となりました。

2023年3月期は急激な円安の進行に翻弄された1年となりましたが、この経験が組織を強くし、さらに成長出来る企業に進化出来たと捉えております。未来に向けて「新たな価値創造」の可能性を模索し、絶えず挑戦を行うことで持続的成長を実現していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

当期純利益 (百万円)



総資産・純資産 (百万円)

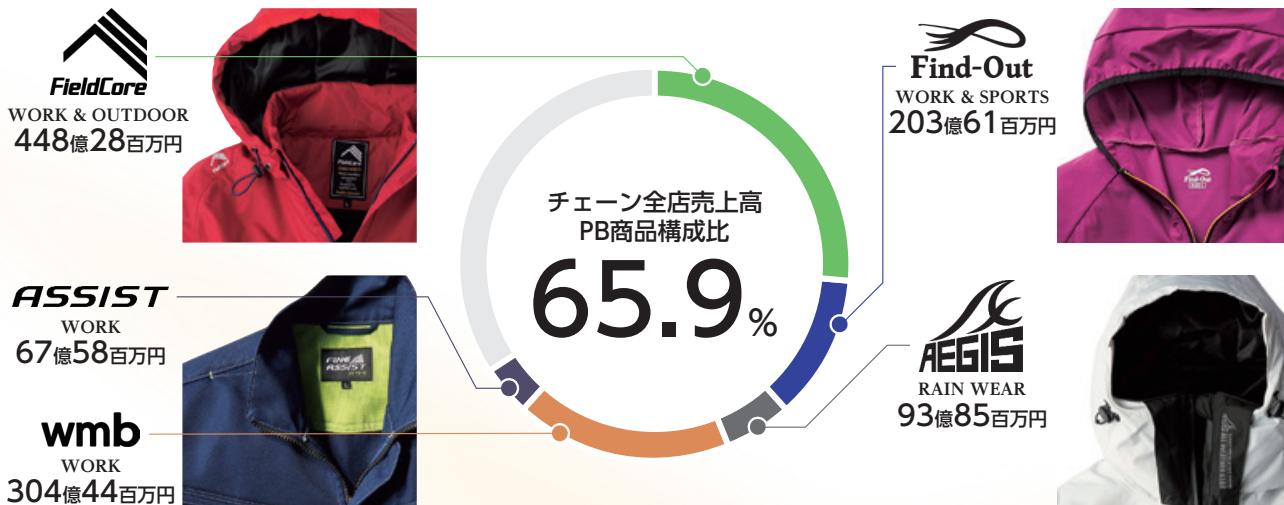


配当金・1株当たり当期純利益 (円)



お客様の声を活かした商品開発

「声のする方に、進化する。」ワークマンでは、お客様や加盟店のリアルな意見や身近な評価を大切にしております。お仕事や趣味のアウトドア・スポーツなど、すべてのお客様の日常をより快適にする機能性ウエアの開発で「価値創造」に取り組んでおります。なお、2023年3月期はPB商品の価格据え置きを宣言し、売上成長に大きく貢献しました。



■ ゴルフウエア市場に本格参入



Tシャツやポロシャツ、コンプレッションウエアなどは、かねてよりゴルフの練習用やビギナーの方にご愛顧を賜っており、ラインナップの強化に関するご要望を多くいただいております。高価格帯が主流のゴルフウエア市場において、高性能×低価格な商品開発を行い“ゴルフの敷居”を下げること、市場の活性化に取り組みました。

■ 作業服の境目を超え、新たなスタイルの提案

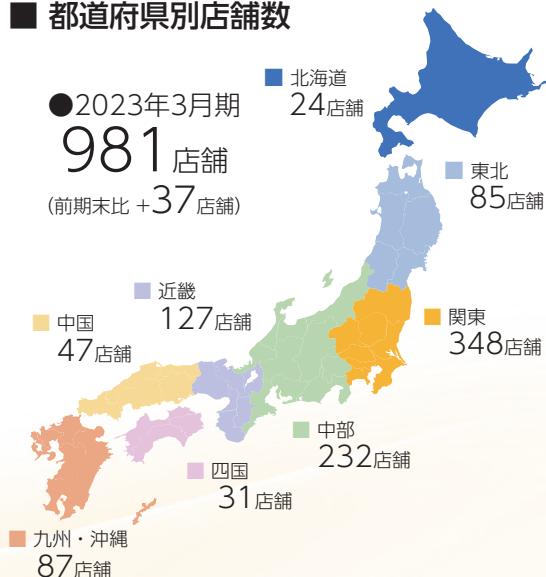


「Activeに動く人も
本格WORK派も」

多様な動き方やスタイルに対応する「URBAN WORKWEAR」を展開し、新たなワーキングウエア市場の開拓を図りました。

お客様ニーズに合わせた店舗展開

■ 都道府県別店舗数

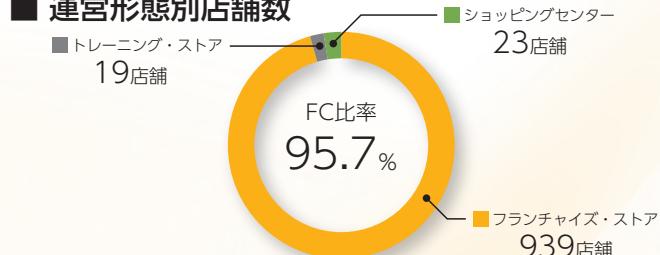


■ 業態別店舗数



※新業態は、ワークマンプラス、#ワークマン女子及びワークマンプロ店舗が対象となります。

■ 運営形態別店舗数



■ 「WORKMAN Shoes」開業



一般のお客様の増加に伴い、女性用シューズやランニング・アウトドアシューズ需要が高まっております。ワークマンシューズを#ワークマン女子に併設することで、衣料品との相乗効果生まれ、販売効率が向上しました。

■ 都市部出店を加速



銀座や池袋といった都心エリアへの出店を始めたほか、百貨店へ初出店するなどお客様の利便性を高めました。販売も順調に推移しており、今後も重点的に都市部の開発を進めてまいります。

トピックス

2022年秋冬新製品発表会（新宿住友ビル三角広場）

2022年9月にマスコミ・インフルエンサー向けの新製品発表会を、会場面積2,600㎡という過去最大級の規模で開催しました。大型キャンプギアの設営や新作の機能性シューズを体験できるブースを設けるなど、ワークマンならではの「高機能×低価格」をアピールしました。

また、PB商品の価格据え置きを宣言し、お客様に寄り添う姿勢を示すことで、秋冬商戦に向けたプロモーションの強化を図りました。

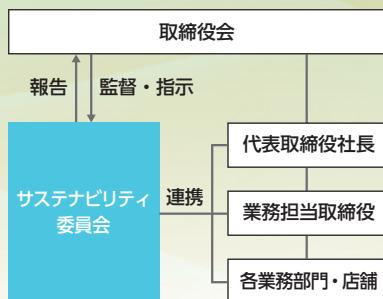


2023年春夏新製品発表会（東京国際フォーラム）

2023年2月に「デザイン性重視、機能はステルスへ」をテーマとした新製品発表会を開催しました。ファッションやライフスタイルなどのインフルエンサーを多数ご招待し、会場から情報発信が行える撮影ブースを設けるなど、参加者が一体感を感じられるイベントとなりました。

機能性を主軸にデザイン性をアピールすることで、ファッション需要でも成長が見込めるブランドへと進化していきたいと考えております。

サステナビリティ



ワークマンは、すべてのお客様のために持続可能な社会の実現を目指しており、お客様の生活文化の向上に役立つとともに、「共存共栄」の精神でステークホルダーの発展と地域社会・地球環境に貢献することをサステナビリティ方針としております。

この度、代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置し、取り組みを推進してまいります。



[Green-TECH]

“天然繊維”と特殊なテクノロジーにより“機能性”を高めた環境に優しいワークマンオリジナルのサステナブル製品

財務諸表

■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前事業年度 2022年3月31日現在	当事業年度 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	94,266	101,390
現金及び預金	64,283	62,640
加盟店貸勘定	11,944	13,459
商品	15,257	21,911
その他	2,781	3,379
固定資産	30,878	34,355
有形固定資産	23,949	27,149
無形固定資産	818	884
投資その他の資産	6,110	6,322
資産合計	125,145	135,746
負債の部		
流動負債	17,897	17,172
買掛金	6,840	7,168
短期借入金	1,350	1,350
未払法人税等	4,960	3,800
その他	4,746	4,854
固定負債	3,687	4,337
負債合計	21,585	21,510
純資産の部		
株主資本	102,896	114,002
評価・換算差額等	663	233
純資産合計	103,559	114,236
負債・純資産合計	125,145	135,746

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	前事業年度 自2021年4月1日 至2022年3月31日	当事業年度 自2022年4月1日 至2023年3月31日
営業総収入	116,264	128,289
売上高	83,452	92,858
加盟店からの収入	32,715	35,311
その他の営業収入	96	119
売上原価	70,207	83,529
販売費及び一般管理費	19,254	20,652
営業利益	26,802	24,106
営業外収益	643	607
営業外費用	50	50
経常利益	27,395	24,664
特別利益	2	4
特別損失	83	13
税引前当期純利益	27,313	24,655
法人税等	9,010	7,998
当期純利益	18,303	16,656

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前事業年度 自2021年4月1日 至2022年3月31日	当事業年度 自2022年4月1日 至2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,451	8,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,631	230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,350	△5,685
現金及び現金同等物の増減額	3,469	3,357
現金及び現金同等物の期首残高	40,813	44,283
現金及び現金同等物の期末残高	44,283	47,640

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 会社概要 (2023年3月31日現在)

商号：株式会社ワークマン
設立：1979年11月30日
本社：群馬県伊勢崎市柴町1732番地
資本金：1,622百万円
従業員数：365名
事業内容：フランチャイズシステムで作業服、作業関連用品及びアウトドア・スポーツウエアを販売する専門店チェーン

■ 役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長 小濱 英之
専務取締役 土屋 哲雄
取締役 飯塚 幸孝
社外取締役 濱屋 理沙
取締役(常勤監査等委員) 加藤 昌宏
社外取締役(監査等委員) 堀口 均
社外取締役(監査等委員) 信澤 山洋

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
定時株主総会の基準日 毎年3月31日
配当基準日 毎年3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00-17:00)
公告方法 日本経済新聞
ホームページのご案内 当社ホームページで、会社案内、IR情報などを掲載しております。
<https://www.workman.co.jp/>

ご注意

- 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取り次ぎいたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、下記のお取扱店またはみずほ銀行本店及び全国各支店でもお取り扱いいたします。

[お取扱店]

みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店